

## 第3学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 外国のお話を読んで、ブックフェアを開こう  
「三年とうげ／本は友だち」（光村図書 3年上）

### 2 単元目標

- 進んで外国の本を読み、そのおもしろさを友達に紹介しようとしている。  
(国語への関心・意欲・態度)
- 本を紹介する目的に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、心に残った文や言葉を引用したり要約したりして帯を作ることができる。  
(読む能力)
- 読み取った内容について自分の考えをもち、読んだ本について友達と感想を交流し合うことで、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。  
(読む能力)
- 表現したり、理解したりするために必要な語句を増やし、適切に使うことができる。  
(言語についての知識・理解・技能)

### 3 指導上の立場

#### (1) 単元について

本単元は、本のおもしろさを読み味わい、友達と感想を交流し合ったり、本の帯を作ったりする活動を通して、一人一人の感じ方に違いがあることに気付く、読書の楽しさをより広げていくことをねらいとしている。教科書教材である「三年とうげ」を読み取るとともに、自分の気に入った外国の本を読み、学校図書館を利用する友達に作品のおもしろさを紹介する本の帯を作る活動を行っていく。

本題材「三年とうげ」は、物語全体に流れるリズム・テンポのよさに、語り継がれた昔話や民話の特徴が表れている作品である。起（物語の舞台設定）・承（おじいさんの登場）・転（事件の発生）・結（解決）という構成に加えて、「ところで・・・」で始まるおまけのなぞかけもあり、楽しく読むことができる教材である。また、トルトリの巧みな機転、不運を幸運へと180度転換する展開は、児童の大好きなとんち話やなぞなぞごっこにも似たおもしろさを伝えるものになっており、読むことが苦手な児童にとっても親しみやすい。三年とうげでの言い伝えを信じ、病気になってしまったおじいさんを心配し、村人やトルトリが知恵をしぼる姿に優しさや温かさが感じられ、明るく前向きに生きることの素晴らしさを感じることでできる作品である。

また、「すっとんで」「はね起きました」など、複合語が効果的に使われ、人物の様子や行動を生き生きと描写しているのが、想像をふくらませながら、読み進めることができる。物語のいろいろなおもしろさを見つけるのに、適した作品であり、さまざまな感じ方や考え方を交流することができる。

そこで、おもしろいと思ったことや心に残ったことを伝え合う方法として、本の帯づくりを活動として取り上げる。本の帯は、実際に書店の書籍でも見ることが出来る身近なものである。自分の読みを生かした本の帯を作り、紹介し合うことにより、それぞれの感じ方の違いに気付くことができるようにしたい。そして、外国の本を読んだり、帯作りや作った帯の鑑賞を通して、いろいろな本に興味をもち、子どもたちの読書生活がさらに広がっていくような展開にしたい。

#### (2) 児童の実態

削除しています。

### (3) 本単元と研究主題との関連

本校の研究主題「言葉の力を高めながら意欲的に学ぶ子どもをめざして～国語科の学習を通して～」を受けて、第3学年では「内容の中心をとらえ、段落相互の関係を考えて読み、目的に応じて表現できる子ども」を目指して取り組んでいる。そのために、本単元では以下の点に留意して指導したい。

#### ①主体的に学ぶための単元構想

本単元では、外国の物語のおもしろさを味わい、本の帯を作って紹介することを目的とし、学習を進めていく。児童が自分の思いや考えをもって学習活動に取り組むことができるようにしたい。そこで、次のような単元を構想した。

第一次では、教師が自作した本の帯を使ったクイズを行い、児童が外国の物語に興味をもてるようにする。本の帯は、児童が作るための参考にするため、話を要約した一文を入れたり、本文の言葉を引用したりするなど、書き方のパターンが分かりやすいものを作っておくようにする。そして、既習の教材の本の帯を用意し、世界地図にその国を位置付けることで、外国の物語への関心が高まるようにする。

第二次では、教科書教材である「三年とうげ」を読み、帯を作っていく。繰り返し音読をすることにより、特徴的なリズム・テンポのよさや民話の語り口調の楽しさなどに気付き、想像をふくらませながら読むことができるようにする。本の帯には、話を要約した一文が書かれていることを想起し、「・・・話」で終わる一文にまとめ、要点をしばって読むことができるようにする。そして、要約した一文を発表し、交流する中で、主人公（おじいさん）が変わるきっかけを与えたのは誰かについて考えていく。これによって、叙述をもとにより深く話を読み取ることができるようにする。こうした話し合い活動を通して、一人一人の感じ方の違いに気付くことができるようにする。

第三次では、各自が選んだ外国の物語についての帯を作成する。その際、あらすじや登場人物の様子がとらえやすく、児童が読みやすい外国の物語を複数用意しておく。「三年とうげ」の帯作りを思い出し、話を要約した一文で表すこと、本文の言葉を引用することなど書き方のパターンを生かして帯をつくることができるようにする。また、思いや考えを表しにくい児童には、「言葉カード」を用意し、進んで帯作りに取り組むことができるようにする。出来上がった帯は本にかけ、友達と読み合い、感想を交流する。また、学校図書館に並べ、他学年の児童にも見てもらうことで、児童の意欲が続くようにする。

第一次から、外国の本を継続して読んでいくことや本の帯を作って学校図書館に並べて見てもらうことを伝えることにより、意欲をもって、学習に取り組むことができると考える。そして、読書に対する抵抗感をなくし、これからの読書生活がさらに広がっていくことを期待している。

#### ②読みを深めるための手立て

一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができるよう、話し合い活動を取り入れる。その際、主人公が変わるきっかけとなったのは誰かについて叙述をもとに、自分の考えをもって話し合うようにする。友達と意見を交流することにより、物語の読み方は多様にあることや、人によって感じ方が違うことに気付くことができると考える。児童が友達と思いや考えを伝え合う楽しさを感じながら、主体的に学習を進めていくことを期待している。教科書教材である「三年とうげ」を用いて読みの方法をおさえていくことで、第三次でも読む活動を深めていくことができると考える。

### 4 指導計画（全14時間）

#### 第一次（2時間）

第1時 本の帯を使って、「これは、何のお話？」クイズをし、外国の物語や本の帯作りに対する興味をもつ。

第2時 「外国のお話を読んで、ブックフェアを開こう」という課題を設定し、学習計画を立

てる。

### 第二次（8時間）

- 第1・2時 作品の楽しさを味わいながら、「三年とうげ」を音読する。
- 第3時 作品のおもしろさや登場人物について感想を交流する。
- 第4時 「三年とうげ」を要約し、一文にまとめる。
- 第5時 おじいさんは何によって元気を取りもどしたのかについて、自分の考えをもつ。
- 第6時 おじいさんが元気を取りもどした理由について話し合う。（本時）
- 第7時 作品のおもしろさが伝わるように、「三年とうげ」の帯を作る。
- 第8時 友達の作った帯を読み、感想を交流する。

### 第三次（4時間）

- 第1時 外国の本を読み、紹介する作品を選ぶ。（第一次から並行読書をしておく。）
- 第2・3時 作品のおもしろさが伝わるように、自分の選んだ本の帯を作る。
- 第4時 友達の書いた帯や紹介している本を読み、感想を交流する。  
（課外） 学校図書館に帯を付けた本を並べ、本を紹介する。

## 5 評価規準

国語科への関心・意欲・態度	読む能力	言葉についての知識・理解・技能
・進んで外国の本を読み、そのおもしろさを友達に紹介しようとしている。（行動観察・ワークシート・帯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本を紹介する目的に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、心に残った文や言葉を引用したり要約したりして帯を作ることができる。（ワークシート・帯）</li> <li>・読み取った内容について自分の考えをもち、読んだ本について友達と感想を交流し合うことで、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。（発言・ワークシート）</li> </ul>	・表現したり、理解したりするために必要な語句を増やし、適切に使うことができる。（発言・ワークシート・帯）

## 6 単元の構想（全14時間）

過程	次時	学習活動	支援と評価
出	一①	○本の帯を使って、「これは、何のお話？」クイズをし、外国の物語や本の帯作りに対する興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今までに学習した「大きなかぶ（ロシア）」「スーホの白い馬（モンゴル）」などの本の帯を用意し、何のお話か考えるようにする。</li> <li>○帯のどの部分からそのお話か分かったかを考えることによって、帯を作るときに必要な要素に気付くことができるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           外国の物語や本の帯作りに興味をもつことができる。【評価】関心・意欲・態         </div>

会			度（発言・ワークシート）
う	②	○「外国のお話を読んで、ブックフェアを開こう」という課題を設定し、学習計画を立てる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">外国のお話を読んで、ブックフェアを開こう。</div> ○前時で紹介した本が作られた国を世界地図に位置付け、他にもいろいろな国のお話を読み、「外国のお話を読んで、ブックフェアを開こう」という課題を明確にし、学習の見通しがもてるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ブックフェアに向けての意欲を高め、学習の見通しをもつことができる。【評価】関心・意欲・態度（発言・ワークシート）</div>
追 究 す る	二① ②	○作品の楽しさを味わいながら、「三年とうげ」を音読する。	○複合語や言い伝えの歌など声に出してテンポよく読むようにし、想像をふくらませながら音読することができるようにする。 ○繰り返し音読することで、作品の楽しさを感じるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">作品の楽しさを味わいながら音読することができる。【評価】読む能力（発言・ワークシート）</div>
	③	○作品のおもしろさや登場人物について感想を交流する。	○作品を読んだ感想を、登場人物やおもしろかったところ、心に残った文など観点別にワークシートに書き、話し合うようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">作品のおもしろさや登場人物について自分の考えをもつことができる。【評価】読む能力（発言・ワークシート）</div>
	④	○「三年とうげ」を要約し、一文にまとめる。	○本の帯の例を示し、要約した一文が書かれていたことを想起させ、「三年とうげ」を一文にまとめることをおさえるようにする。 ○要約する文の中に、「三年とうげ」（どこで）、「おじいさん」（主人公が）、「長生きした」（どうなった）という言葉を入れ、「・・・話」で終わる一文にまとめる。

		<p>めることを助言し，要点をしぼって読むことができるようにする。</p> <p>人物の行動や様子，出来事に焦点をしぼって読むことにより，「三年とうげ」を一文に要約することができる。【評価】読む能力（発言・ワークシート）</p>
⑤	○おじいさんは何によって元気を取りもどしたのかについて，自分の考えをもつ。	<p>○叙述をもとに，おじいさんは何によって元気を取りもどしたのかについて考えるよう助言する。</p> <p>○いろいろな考えがあってよいことを知らせ，自分の立場とその理由をワークシートに書くようにする。</p> <p>おじいさんは何によって元気を取りもどしたのかについて，叙述をもとに自分の考えをもつことができる。【評価】読む能力（発言・ワークシート）</p>
⑥ (本時)	○おじいさんが元気を取りもどした理由について話し合う。	<p>○前時に書いたワークシートをもとに，おじいさんが元気を取りもどした理由について話し合うようにする。</p> <p>○「ぬるでの木のかげ」から聞こえてきた歌は誰が何のために歌ったのかを考えることにより，話し合いがより深まるようにする。</p> <p>○教科書には誰が歌ったのか書いていないことから，いろいろな読み方で読むことができるよさに気付くことができるようにする。</p> <p>読み取った内容についての自分の考えを友達と交流することで，一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。【評価】読む能力（発言・ワークシート）</p>
⑦	○作品のおもしろさが伝わるように，「三年とうげ」の帯を作る。	○本の帯のモデル文を示し，話を一文で表すこと，好きな言葉や文を書くこと，主人公の紹介など，書き方のパターンをつかむことができるようにする。



	<p>④ ○友達の書いた帯や紹介している本を読み，感想を交流する。</p>	<p>○友達の帯のよいところを伝え合うことで，学習の成果を感じることができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>友達の書いた帯や紹介している本を読み，いろいろな本に興味をもつことができる。【評価】関心・意欲・態度（行動観察・ワークシート）</p> </div>
<p>課外</p>	<p>○学校図書館に帯を付けた本を並べ，本を紹介する。</p>	<p>○学校図書館に自作の帯を付けた本を置いて全校に紹介することで，今後の読書生活がさらに広がるようにする。</p> <p>○全校児童に呼びかけ，帯や本の感想をカードに書いてもらうようにし，児童の励みになるようにする。</p>

8 本時案（第2次の第6時）

目 標		読み取った内容についての自分の考えを友達と交流することで、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。（読む能力）	
過程	学 習 活 動	教 師 の 支 援	準 備 物
高 め る	1 本時のめあてをつかむ。	○前時までの学習を想起させ、おじいさんは何によって元気を取りもどしたのかについて話し合うことを確認する。  おじいさんは何によって元気を取りもどしたのかについて話し合おう。	学習計画表
	2 音読する。	○おじいさんが病気になってから元気になるまでの場面を、めあてを意識して読むよう助言する。	
	3 おじいさんは何によって元気を取りもどしたのかについて話し合う。	○前時に書いたワークシートをもとに、自分の立場とその理由を、本文の言葉や挿絵を手がかりにして話し合うようにする。 ○話形を提示し、友達の考えに関係付けながら自分の考えを発表できるようにする。 ○自分の考えを話すことができにくい児童には、ワークシートに書いたことを読んだり、友達の意見と比べてどうか考えたりすることにより、話し合いに参加することができるようにする。  《トルトリ派》 ・トルトリが、長生きできる方法をおじいさんに話したから。 ・トルトリの話聞いて、おじいさんは三年とうげで転がろうとしたから。 ・ぬるでの木のかげから聞こえてきた歌は、トルトリがおじいさんに言ったことと同じだから。 《村人派》 ・「村の人たちもみんな心配しました。」と書いてあるから、村の人たちが話し合って、トルトリに見舞いに行かせているのだと思う。 ・教科書の挿絵には、村人がみんなで歌ったり踊ったりしている絵があるから。 ・村人たちは、おじいさんがふとんから起きて、三年とうげまで行くところをずっと見守っていたと思う。  ○話し合いの中で、「ぬるでの木のかげ」から聞こえてきた歌は誰が何のために歌ったのかを考えることにより、話し合いが深まるようにする。	ワークシート 話形を示したカード
4 本時の学習のまとめをする。	○振り返りカードに、友達の発表や自分の初めの考えと関連して書くことで、それぞれの感じ方に違いがあることに気付くことができるようにする。 ○教科書の本文には結末が隠されていることを説明し、いろいろな読み方で読むことのおもしろさに気付くことができるようにする。  【評価】読む能力 読み取った内容についての自分の考えを友達と交流することで、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。（発言・ワークシート）		
5 次時の学習について知る。	○次時は、「三年とうげ」の帯を作ることを知らせ、続けて意欲をもって取り組むことができるようにする。		